

FMU 男女共同参画通信

第16号 March 2018
福島県立医科大学男女共同参画支援室

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。本支援室では、平成27年度より「男女共同参画行動計画」に基づき様々な取組を行って参りました。来年度からは「男女共同参画行動計画」を改正しまして、さらに男女共同参画の推進に取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

H29年度第8回 FMU スキルアップセミナーを開催しました

H30年1月23日(火)に、研究デザインについて学ぶ「第8回 FMU スキルアップセミナー」を開催しました。「研究デザインが研究の質を決定する」と題して、本学副学長/臨床研究イノベーションセンター センター長 福原 俊一先生にご講演いただきました。

たくさんの教職員や学生・大学院生に参加いただき、講演中クイズを出し、参加者にスマートフォンなどで答えてもらい、先生に解説していただく参加型の講演で大変有用なセミナーになりました。参加者からは「研究デザインを決めるプロセスのところを色々な例えを用いてお話頂けて、とても勉強になりました」「研究者でなくても自分の仕事に反映させられる内容で、大変おもしろく聞かせていただきました」などの声が寄せられました。福原先生の書籍は、本支援室の図書コーナーにもございます。本学の教職員・学生にホームページから貸出も行っております。



H29年度 FMU キャリアサポート交流会—未来の“私”を考えよう—を開催しました

1月31日(火)に、学生を交えての交流会「FMU キャリアサポート交流会—未来の“私”を考えよう—」を開催致しました。講師に、東京医科大学医師・学生・研究者支援センターセンター長・教授 大久保 ゆかり先生をお招きし、「あなたにもできるキャリアアップ!—私自身の経験と若手医師の支援を通じて考えたこと—」と題してご講演いただきました。

また今回は、法務省福島刑務支所医務課長 山口 晶子先生に「矯正医療と女性医師」についてお話いただきました。

先生方には、ご自身の体験談などキャリアを通じたお話をいただき、これから医師として、看護職に就く者としての未来像を考えるのにとっても参考になるお話を聞くことができました。参加者からは「様々な働き方があること、先生方がどのような経験を経てきたかを知ることができ、自分にあてはめて考える機会となった」等の声が寄せられました。講演会終了後は、交流会も開催され、大久保先生と山口先生との親睦を深めました。



12月・1月 FMU キャリアカフェ&2月 FMU イングリッシュカフェを開催しました

12月と1月には、本学の男女共同参画の現状と今後を話し合う「FMU キャリアカフェ」を開催しました。

医学部基礎系講座と医学部臨床系講座に所属している教職員に各講座の男女共同参画の現状をお話いただき、どのようなことが求められているのかを考えました。

参加者からは、「本学又は市内の保育園の現状」さらに「本支援室で取組んでいる研究支援員制度について」や「男性教員の育児休暇の取得」、「有給休暇の取得状況」についてなど様々な意見をいただきました。

アンケートには、「各講座の事情が垣間見られて参考になりました」、「実際に対面で利用等を伺うと制度を利用してみたいと感じました」等の声が寄せられました。本支援室では、頂いた意見を参考にしまして取組を行って参りたいと思います。



1月 FMU カフェの様子

2月には、情報交換をしつつ英語力を身に付ける「FMU イングリッシュカフェ」を開催しました。

今回は、放射線医学県民健康管理センター国際連携室 室長 Nollet Kenneth 先生にご発表いただきました。発表終了後は、グループディスカッションが行われ、意見交換をしました。参加者からは、「刺激たっぷりの素晴らしい発表でした」、「イングリッシュカフェに参加すると、いつも頑張らなければと思います」等の声が寄せられました。

毎回イングリッシュカフェは好評で、教職員・学生・留学生と様々な方々と交流が出来、とても有意義なカフェになりました。



H29 年度 FMU 成果報告会を本学と会津医療センターで開催しました

男女共同参画支援室の取組の一つとして、ライフイベント（出産・育児・介護・看護等）により研究が困難な教員に対して研究支援員を配置しております。

今年度支援を受けた教員に研究の概要をお話いただく「FMU 成果報告会」を開催しました。

今年度は、上半期と下半期合わせて 17 名の教員の方に研究支援を行いました。

3月2日（金）と6日（火）には、本学で支援を受けた教員 13 名の方々にご発表いただき、3月14日（水）には、会津医療センターで支援を受けた教員 3 名の方々にご発表いただきました。教員それぞれに研究の概要をお話いただき、研究の意欲向上の機会となりました。



配偶者出産休暇を取得した教員に感想をいただきました

配偶者出産休暇を取得して

消化器内科学講座 助手 紺野直紀 先生

私は現在、3歳半の娘と、2歳の息子の2児の父です。息子の出産時に配偶者出産休暇を取得しました。4月という、年度初めの慌ただしい時期でしたが、職場の先生方のあたためかひ配慮により、出産に立ち会うことができました。また、出産後、妻が産院を退院し、体調が回復するまでの間、当時1歳半の娘と一緒に過ごすことができました。娘にとっては、まだ幼い時期に母親と離れることは相当のストレスだったと思いますが、それを少しでもカバーすることができて、大変貴重な時間を過ごすことができましたと感じています。

3日間の配偶者出産休暇に加えて、4日間の有給休暇を頂き、1週間仕事を離れて、育児に携わることができました。この期間に行ったことはごくわずかでしたが、現在を含め、その後の仕事と育児の両立にとって、かけがえのない時間であったと思います。改めて、職場の先生方に感謝申し上げます。



支援を受けられた教員からの感想

教員 O 先生

時短勤務中であり、残業することもなかなか難しい中で、研究に費やす時間をうまく取れずにいたが、今回支援いただき、研究の基礎となるデータ整理を行っていただくことが出来たため、今後進めていく足掛かりが出来た。

支援を行っていた支援員からの感想

支援員 N さん

今までの経験してきたことに加えて、新しく習得したことも多く、大変勉強になりました。成果発表会では、支援によって役立っている事や先生方の研究内容などを知ることが出来て良かったです。

大学託児所「すぎのこ園」のご案内

すぎのこ園では、医大に在籍している教職員及び学生のお子様をお預かりして育児と就労・就学を支援しております。また、通常利用だけでなく、一時利用や夜間利用も実施しております。

通常利用の申し込みについては、平成30年4月から、利用単位を月単位とし、申し込み期間を定めました。利用を希望する方は、あらかじめお知らせする期限までに、忘れずに申し込みをしてください。

なお、入園希望者が多い場合は、選考となることもありますので、ご了承ください。

申し込みにあたっては、職場復帰の時期（復帰月からの利用が可能）やお子様の状況などを考慮の上、利用時期のご検討をお願いします。

詳細なスケジュールや提出書類については、医科大学の託児所ホームページをご覧ください。

【託児所 HP :

<https://www.fmu.ac.jp/univ/daigaku/takuiisyo.html>】



貸出図書に新しい書籍が増えました



男女共同参画支援室では、図書を設けて学内専用貸し出しをおこなっております。ホームページからも貸し出しの受付をおこない、学内 BOX での受け渡しをおこないますので、詳しくは HP をご覧ください。興味をお持ちの本がありましたら、お気軽にメールにてご連絡ください。

★おすすめの最新刊★

★本学副学長／臨床研究イノベーションセンターセンター長 福原 俊一先生の書籍から！★

『臨床研究の道標（みちしるべ）第2版』7つのステップで学ぶ研究デザイン【上巻・下巻】
『リサーチ・クエスチョンの作り方 第3版』

★子育て関連より★

■スタートから完了まで、この1冊でOK！
『はじめての離乳食のギモン、すべて解決！』
■コウノドリモデルになった産科医が教える
『妊娠出産ホンマの話、嫁ハンの体とダンナの心得』

他にも新しい書籍や男女共同参画、介護、研究、料理等様々な書籍がございますので、詳細は男女共同参画支援室のホームページをご覧ください。

<http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

【連絡先】 E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel : 024-547-1657 / 内線 : 2807

HP : <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ

コーディネーター 千葉 篤子